

留学より修得した単位認定 手続きマニュアル



令和4年4月
東京外国語大学教務課

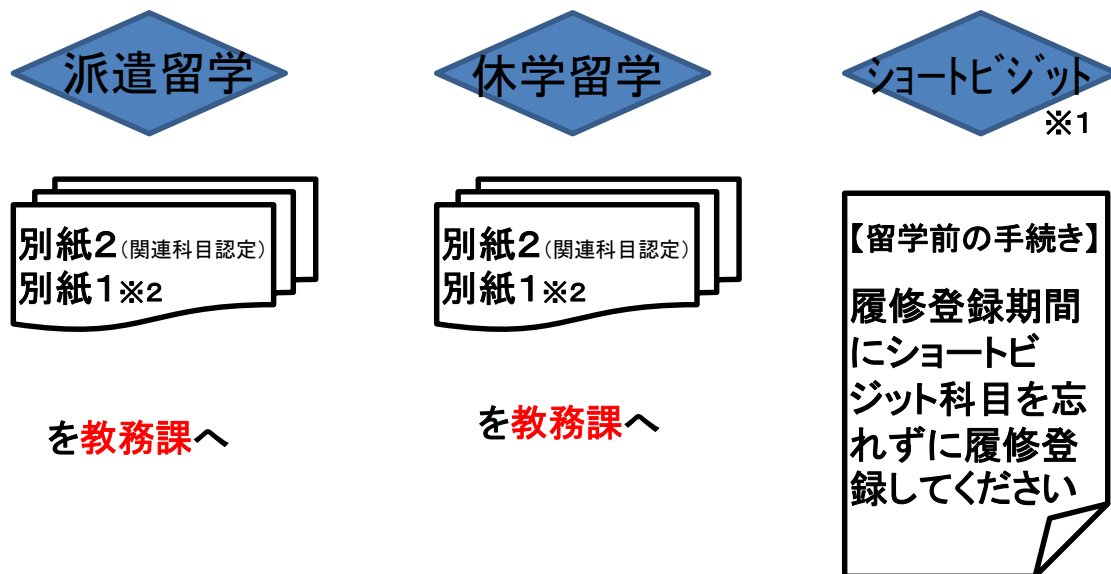
もくじ

• 単位認定申請チャート	・・・3
• 単位認定申請書記入のポイント	・・・4
• 別紙1・別紙2記入のポイント	・・・5
別紙1記入例	・・・6
別紙2記入例	・・・7

留学後の手続き

～単位認定申請希望者のみ～

単位認定申請をする場合は単位認定申請書と一括認定用紙(別紙1)もしくは関連科目認定用紙(別紙2)を併せて提出します。別紙1と別紙2のどちらを提出すればよいかは下記チャートを参考にしてください。



※1 単位認定対象者は卒業を予定する第4年次冬学期(9月卒業申請者は夏学期)のプログラム参加者を除きます。

※2 留学先の授業科目・教育内容が本学の授業科目区分と同一又は類似であると判断できる科目は別紙1を使います。

その他全員に共通して必要な書類

- 成績証明書(原本)
- 成績の基準がわかる資料
- 各授業のシラバス
- 履修時間がわかる資料

別紙1もしくは別紙2、成績証明書、シラバスにはどの授業に対応している書類かがわかるように番号をふってください。

書類の記載が英語以外の言語の場合はそれぞれ日本語訳をつけてください。

一度申請に利用した成績証明書は返却出来ません。手元に残しておきたい人は留学先大学に問い合わせてください。

成績証明書に履修時間数が明記されていない場合は
「1時限あたりの授業時間(分) × 全体のコマ数 = 総時間数」
という式を授業ごとに記載してください。【例】90分 × 15回 = 1350分

単位認定申請書記入のポイント

(様式3)

単位認定申請書

2019年度以降
入学用

西暦 年 月 日

東京外国語大学長 殿

所属学部	国際社会学部
地域/専攻言語	中央ヨーロッパ/チェコ語
学籍番号	6100302
学年	3 年
氏名	外語 太郎
連絡先	TEL: 090-9999-9999 MAIL: gaigo-taro@tufs.ac.jp
指導教員	(署名)

私は下記の大学に留学しましたので、当該大学で修得した単位を本学の単位として、別紙1・2のとおり認定願います。

記

大学名	アデレード大学
国名	オーストラリア
留学の種類	休学留学
留学期間 (西暦)(入学許可を受けた期間)	2021年 7月 ~ 2022年 6月

■単位認定の申請期限: 4月～9月に派遣留学・休学期間が終了の者→同年度10月末日まで
10月～翌年3月に派遣留学・休学期間が終了の者→次年度4月末日まで
※正当な理由がある場合、期限を6ヶ月延長することが可能(理由書の提出必須)

■添付資料: 成績証明書、成績基準がわかる資料、各授業のシラバス、履修時間がわかる資料
※資料の記載が英語以外の言語である場合は、日本語訳も必ず添付すること
※各授業のシラバスがない場合は、自身で作成の上、提出すること

この申請書で知り得た情報は、学生本人の確認及び連絡、教員への連絡、学生身分の異動確認、留学先データの確認、認定単位データの追加、成績管理データの追加に限り使用します。

※●●語圏の大学で、●●語話者のための日本語授業の単位認定は出来ません。
※単位認定は留学期間が終了し、留学先の成績評価が出され次第、速やかに申請してください。
申請は1回の留学につき1回です。

※単位認定の申請期限: 4月～9月に派遣留学・休学期間が終了の者→同年10月末日まで
10月～翌年3月に派遣留学・休学期間が終了の者→次年度4月末日まで
※授業科目・教育内容が同一又は類似であると判断できる留学先の授業科目については、その科目ごとに、本学の授業科目区分に振り替えて単位を認定することができます。また、留学先で修得した科目が、所定の科目区分に該当しない場合は、関連科目への振替とします。

別紙1・別紙2記入のポイント

記入例も参考にしてください。

別紙1を使用する方

授業科目・教育内容が同一又は類似であると判断できる留学先の授業科目については、その科目ごとに、本学の授業科目区分に振り替えて単位を認定することができます。その場合は、別紙1を使用します。

Point!!

認定を希望する全科目区分に対して、それぞれの承認教員から署名をもらいます。国際社会学部生が専修プログラムの科目に振り替える場合は、指導教員に加えて、コース長の承認も必要です。

(別紙1)一括認定用

学部	専攻言語	留学先大学で履修した科目及び履修時間数	本学の単位として認定される科目区分	認定単位数の算出方法	単位数	指導教員署名
科目区分	科目名	履修時間数(算出方法)	授業科目区分名	認定単位数の算出方法		
例 言語科目	English Grammar	90分×18回=1620分	専攻言語(英語Ⅱ)	1620分÷1350分×1=1.2	1	外語 大学
1						
2						
3						
4						
5						

科目区分 言語科目 語学習得を目的とする授業科目
講義科目 言語科目以外の授業科目

認定基準 言語科目 60分=1単位 (言語科目単位数=言語科目の総履修時間数÷1350分×1)
講義科目 60分=2単位 (講義科目単位数=講義科目の総履修時間数÷1350分【小数点以下切捨】×2)

留意事項
1. 一括認定では、承認教員については、【(1)振替先科目区分一覧】を確認すること。
2. 各授業科目区分となった言語の専攻言語代表教員から署名をもらうこと。
※言語科目は、留学し、英語の授業を履修した場合は、英語の専攻言語代表教員からの署名が必要。

Point!!

各科目に番号をふり、それに対応する成績証明書やシラバスにも同じ番号を記入してください。
また、科目名欄には授業科目名を書いてください。(授業題目名ではありません。)科目名が日本語・英語以外の言語の場合は、和訳をして記入してください。

Point!!

同じ科目区分に振り替える場合、認定単位数の算出の計算はまとめて行って下さい。

専攻言語	学年	履修した科目及び履修時間数	本学の単位として認定を希望する授業科目区分	認定単位数の算出方法	単位数	指導教員署名
科目区分	科目名	履修時間数(算出方法)	授業科目区分名	認定単位数の算出方法		
例 講義科目	電子工学	60分×(13回×週2)=1560分	関連科目(講義)	1560分÷1350分×2=2.3	2	外語 大学
関1						
関2						
関3						
関4						
関5						

認定基準 言語科目: 1350分=1単位 (言語科目単位数=言語科目の総履修時間数÷1350分×1)
講義科目: 1350分=2単位 (講義科目単位数=講義科目の総履修時間数÷1350分【小数点以下切捨】×2)

2019年度以降
入学者用

Point!!

指導教員に署名をもらいます。

留意事項

1. 留学先で修得した科目が、【(1)振替先科目区分一覧】の「世界教養プログラム」もしくは「所属学部の専修プログラム」に該当しない科目である場合は、関連科目への振替とする。
2. 各学部が定める関連科目の卒業所要単位数(入学年度によって異なる)を超えて単位を認定することはできない。

記入例

(別紙1)一括認定用

学部	国際社会学部	地域/ 専攻言語	中央ヨーロッパ/チェコ語	学籍番号	6100302	学年	3	氏名	外語 太郎
----	--------	-------------	--------------	------	---------	----	---	----	-------

2019年度以降
入学者用

留学先大学で履修した科目及び履修時間数			本学の単位として認定を希望する授業科目区分			本学の単位としての認定可否(教員記入欄)		
科目区分	科目名	履修時間数 (算出方法)	授業科目区分名	認定単位数の 算出方法	認定 単位数	専攻言語代表教員 署名	指導教員 署名	国際社会学部各コース長 署名
例 言語科目	English Grammar	90分×18回=1620分	専攻言語(英語Ⅱ)	$1620分 \div 1350分 \times 1 = 1.2$	1	外語 大学		
1 言語科目	中国語中級Ⅰ	60分×18回=1080分	専攻言語(中国語Ⅱ)	$2160分 \div 1350 \times 1 = 1.6$	1	中国語専攻言語 代表教員署名		
2 言語科目	中国語中級Ⅱ	60分×18回=1080分						
3 言語科目	English Writing	90分×18回=1620分	GLIP英語A	$1620分 \div 1350分 \times 1 = 1.2$	1	英語専攻言語 代表教員署名		
4 講義科目	国際法	$90分 \times (15回 \times 週3) = 4050分$	専門科目<講義(国際関係)>	$4050分 \div 1350分 \times 2 = 6$	6		指導教員署名	国際関係コース長署名
5 講義科目	社会関係概論	$120分 \times (15回 \times 週2) = 3600分$	概論科目<現代世界論>	$3600分 \div 1350分 \times 2 = 4$	4		指導教員署名	現代世界論コース長署名

科目区分 言語科目: 言語習得を目的とする授業科目
講義科目: 言語科目以外の授業科目

留学先で修得した複数の科目を合算して、本学の一つの授業科目区分として認定する場合、合算する科目は「科目名が同じである」「同一カテゴリー」または「内容的に連続したもの」でなければなりません。認定の可否については、教員の指示を仰いでください。

<例>
国際法A(春学期)、国際法B(秋学期)⇒合算可
ドイツ文学、ドイツ古代史 ⇒合算不可

言語文化学部・国際社会学部の概論科目・専門科目の場合、それぞれのコースごとに科目区分名が異なります。確認のうえ入力するようにしてください。

<例>
概論科目<超域>
専門科目<講義(国際関係)>

なお、他学部の専修プログラムの科目を申請することも可能ですが、(別紙2)関連科目認定用で申請してください。

講義科目の単位数計算は、「講義科目単位数=講義科目の総履修時間数÷1350分【小数点以下切捨】×2」で算出してください。

科目区分ごとまた開講学部によって、承認が必要な教員が異なります。詳細は説明書をよく確認してください。

(1) 成績の基準がわかる資料に関して

- ☐ 成績の基準がわかる資料がある (オリジナルおよび必要に応じて翻訳)
- ☐ 成績の基準がわかる資料はないが、学生との面談で、成績の基準を確認した

(2) 申告した履修時間数に関して

- ☐ 履修時間数の確認できる証明書類がある(オリジナルおよび必要に応じて翻訳)
- ☐ 証明書類で申告した履修時間数の確認はできないが、学生との面談および補足資料で、申告した時間数に間違いがないことを確認した

(3) 各授業のシラバスに関して

- ☐ 大学が発行した各授業のシラバスがある(オリジナルおよび必要に応じて翻訳)
- ☐ 大学が発行した各授業のシラバスはないが、学生との面談および補足資料で、各授業の内容に問題がないことを確認した

(4) 言語の対応関係について

- ☐ 語学以外の授業を本学の言語科目に振り替える場合、当該言語によって授業が行われていることを確認した
- ☐ 該当しない

記入例

(別紙2)関連科目認定用

2019年度以降
入学者用

学部	国際社会学部	地域/ 専攻言語	中央ヨーロッパ/チェコ語	学籍番号	6100302	学年	3	氏名	外語 太郎
----	--------	-------------	--------------	------	---------	----	---	----	-------

留学先大学で履修した科目及び履修時間数			本学の単位として認定を希望する授業科目区分			本学の単位としての認定可否(教員記入欄)
科目区分	科目名	履修時間数 (算出方法)	授業科目区分名	認定単位数の 算出方法	認定 単位数	指導教員 署名
例 講義科目	電子工学	60分×(13回×週2) =1560分	関連科目(講義)	1560分÷1350分 ×2=2	2	外語 大学
関1 講義科目	フランス経済学史	120分×15回=1800	関連科目(講義)	1800分÷1350分 ×2=2	2	指導教員署名
関2 講義科目	フランス文学研究	90分×15回=1350	関連科目(講義)	1350÷1350分 ×2=2	2	指導教員署名
関3 言語科目	The Gaelic language in Ireland	60分×(13回×週2) =1560分	関連科目(言語)	3120分÷1350分 ×1=2.3	2	指導教員署名
関4 講義科目	建築学	40分×(13回×週2) =1040分	関連科目(講義)	(1560分+1170分) ÷1350分×2=2	2	
関5 講義科目	データサイエンス入門	90分×13回 =1170分	関連科目(講義)			

※言語文化学部・国際日本学部生の場合

※国際社会学部・国際日本学部生の場合

認定基準 言語科目:1350分=1単位 □ (言語科目単位数=言語科目の総履修時間数÷1350分×1)
講義科目:1350分=2単位 □ (講義科目単位数=講義科目の総履修時間数÷1350分【小数点以下切捨】×2)

他学部の専修プログラムの科目を申請する場合は、関連科目で申請してください。

例)フランス経済学史
⇒言語文化学部・国際日本学部生は、関連科目で申請
フランス文学研究
⇒国際社会学部・国際日本学部生は、関連科目で申請

同じ科目区分に振り替える場合、認定単位数の算出の計算はまとめて行います。
なお、講義科目の単位数計算は、
「講義科目単位数=講義科目の総履修時間数÷1350分【小数点以下切捨】×2」で算出してください。

単位認定の際に、(1)～(3)の項目で記入する内容を記入してください。

- 成績の基準がわかる資料に関して
 - ☐ 成績の基準がわかる資料がある (オリジナルおよび必要に応じて翻訳)
 - ☐ 成績の基準がわかる資料はないが、学生との面談で、成績の基準を確認した
- 申告した履修時間数に関して
 - ☐ 履修時間数の確認できる証明書類がある(オリジナルおよび必要に応じて翻訳)
 - ☐ 証明書類で申告した履修時間数の確認はできないが、学生との面談および補足資料で、申告した時間数に間違いがないことを確認した
- 各授業のシラバスに関して
 - ☐ 大学が発行した各授業のシラバスがある(オリジナルおよび必要に応じて翻訳)
 - ☐ 大学が発行した各授業のシラバスはないが、学生との面談および補足資料で、各授業の内容に問題がないことを確認した

2022年度 専攻言語代表教員・コース長等一覧

○専攻言語代表教員

専攻語名	教員名	専攻語名	教員名
英語	伊東 剛史	フィリピン語	山本 恭裕
ドイツ語	西岡 あかね	タイ語	宮田 敏之
フランス語	芹生 尚子	ラオス語	鈴木 玲子
イタリア語	小久保 真理江	ベトナム語	野平 宗弘
スペイン語	久野 量一	カンボジア語	上田 広美
ポルトガル語	武田 千香	ビルマ語	岡野 賢二
ロシア語	匹田 剛	ウルドゥー語	萬宮 健策
ポーランド語	森田 耕司	ヒンディー語	水野 善文
チェコ語	金指 久美子	アラビア語	青山 弘之
中国語	三宅 登之	ペルシア語	佐々木 あや乃
朝鮮語	五十嵐 孔一	トルコ語	菅原 睦
モンゴル語	青木 雅浩	ベンガル語	丹羽 京子
インドネシア語	降幡 正志	日本語	阿部 新
マレーシア語	左右田 直規	ウズベク語	島田 志津夫

○コース長(国際社会学部)

コース名	教員名
地域社会研究コース	宮田 敏之
現代世界論コース	加藤 美帆
国際関係コース	篠田 英朗

○国際日本学部長が指名する教員(国際日本学部)

	教員名
国際日本学部長が指名する教員	阿部 新

単位認定申請に必要な提出書類について

留学後の単位認定申請に必要な書類は以下からダウンロードしてください。
説明書や見本をよく読んで書類を作成してください。

○【2019 年度以降入学者】 デジタル版単位認定申請書

http://www.tufs.ac.jp/documents/student/studyabroad/program/credit_application_form_after2019.xlsx

（「本学 HP トップ」＞「在学生の方へ」の左下「留学案内」の「派遣留学」＞「交換留学（派遣）に関連する必要書類等」＞「ページ中段あたり」）

上記のうち提出必要書類

- ・ 申請書
- ・ 別紙 1（一括認定用）・ 別紙 2（関連科目認定用）